

平成27年度第3回渋川市総合教育会議 議事録

I 開催日時

平成27年11月18日（水）午後3時開会 午後4時20分閉会

II 開催場所

渋川市役所第二庁舎201会議室

III 出席者

【構成員】阿久津貞司市長、土田猛教育委員長、太田大森教育委員長職務代理者、池田由美子教育委員、高橋秀和教育委員、後藤晃教育長

【事務局】佐久間総務部長、田中企画部長、立見保健福祉部長、田中学校教育部長、天田生涯学習部長、橋爪教育総務課長、名塚学校教育課長、綿貫学校給食課長、石田生涯学習課長、田中体育課長、小林文化財保護課長、内田こども課長、笹原企画課長、ほか担当職員3名

【傍聴者】 5名

IV 会議の概要

1 開会

笹原企画課長	みなさんこんにちは、本日司会を務めさせていただきます企画課長の笹原と申します。よろしくお願いたします。 それでは、定刻前ではございますが、みなさんお揃いでございますので、ただいまから平成27年度第3回渋川市総合教育会議を開催いたします。 はじめに、阿久津市長からごあいさつを申し上げます。
--------	--

2 市長あいさつ

阿久津市長	－ あいさつ －
笹原企画課長	続きまして、土田教育委員長からごあいさつをお願い申し上げます。

3 教育委員長あいさつ

土田教育委員長	－ あいさつ －
---------	----------

4 議題

(1) 渋川市教育振興大綱（案）について

笹原企画課長	それでは、議題に入らせていただきます。 渋川市総合教育会議設置要綱の規定によりまして、このあとの進行につきましては市長にお願いいたします。
阿久津市長	それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。 議題に入らせていただきます。 議題（1）渋川市教育振興大綱（案）について議題とします。

	事務局の説明をお願いします。
田中企画部長	－配付資料に基づき説明－
阿久津市長	事務局から説明が終わりました。渋川市教育振興大綱（案）は、第1回の総合教育会議から大綱策定に向けた協議を進めさせていただきました。 第2回8月20日の会議では、大綱策定（案）を示させていただき、みなさんからの貴重なご意見をこの大綱に反映させていただいております。 その後、市民意見公募を行いましたので、本日は、その結果と大綱として策定のため最終的な確認とご意見を願いますので、よろしくお願いいたします。 みなさんから大綱について、全体的なご意見をいただきたいと思います。
土田教育委員長	第2回の総合教育会議で意見をさせていただき、今回の会議の前に修正したものを見せていただいたが、しっかり反映されていると思いました。 いくつか、提案というか少し直すところがあるのかなと思うところがありますが、非常にすばらしい大綱ができ上がってきていると感じております。 また、パブリックコメントの実施結果ですが、市民の貴重なご意見を踏まえてもわかやすく出来ている気がしています。 提案というか直す部分なのか私も困ってしまっておりますのが、2ページ目の大綱の体系ですが、その次の3ページに方針が具体的に表しているので、このままでもいいのですが、配置というか順番を体系の前に方針をもってきてはどうかと思ったところです。
田中企画部長	教育委員長のご指摘のとおり、大綱の方針の下に大綱の体系があったほうがわかりやすいと言うことであれば、順番を変更させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。
土田教育委員長	はい、ありがとうございます。
阿久津市長	それでは、大綱方針を5に持って行き、6に大綱の体系を持って行くよう順番を変更させていただくことでよろしくお願い致します。 ほかにご意見がありましたらお願いします。
後藤教育長	前回第2回の会議で各委員からそれぞれ意見を出し合って、再提出されたものが今回の会議で示されましたが、全体として教育委員会でも中身を見させていただいて大綱自体は、結構ではないかということでしたが、細かな文字の整理については、一部指摘すべきところがあるのかと思います。再整理して頂けるかどうかお伺いしたい。
田中企画部長	細かな文字の整理については、全体に影響がなく改めて会議等に諮る必要がない程度のものであれば、事務局に提出いただいて調整させていただきたいと思います。

	<p>最終的には、第3回の総合教育会議で決定しますので、訂正した内容は、最終的には市長決裁をいただき、その後、議会に報告するようになりますので、このような方法でよろしければ、修正をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
阿久津市長	<p>そのようなことでよろしいでしょうか。 ほかに何かありますか。</p>
土田教育委員長	<p>教育委員と本件に対して事前に協議させていただきました。 教育委員全員として、社会を形成する資質を備えた人材の教育の充実、教育大目的である実現が、本市の発展につながることを十分に意識しながら、各種施策を推進していくということがまず一つです。 もう一つ、大綱の策定を踏まえて、教育委員会がしっかり情報共有をし、状況に応じて市長部局との連携、また、学校、家庭、地域との連携を図りながら各施策を推進していくということを教育委員でまとめた点を2点ばかり話させていただきました。</p>
後藤教育長	<p>今、教育委員長からの発言は、大綱の策定を踏まえて、そのような認識をして市長部局と連携しながら、各種施策を進めていくという心構えということで、述べていただきました。 大綱の中に含めてもらいたいという趣旨ではございませんのでよろしくお願いいたします。</p>
田中企画部長	<p>渋川市総合教育会議ということで設置させていただきました。設置の目的に沿って今後もこの会議を有効に利用しながら、教育委員会と市長部局が協議し、教育行政に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
土田教育委員長	<p>よろしくお願いいたします。</p>
阿久津市長	<p>それでは、ご意見がないようでございますので、この大綱案をもって渋川市教育振興大綱を策定させていただくことで、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(教育委員 全員「はい」の声)</p>
阿久津市長	<p>教育委員さんのご承認をいただいたということで、ありがとうございます。</p>
<p>(2)「渋川市いじめ問題対策連絡協議会等条例等について」について</p>	
阿久津市長	<p>続きまして議題(2)「渋川市いじめ問題対策連絡協議会等条例等について」を議題とさせていただきます。 事務局の説明をお願いします。</p>
田中学校教育部長	<p>－配付資料に基づき説明－</p>

阿久津市長	<p>ただいまの説明に対する意見をお伺いいたします。</p> <p>先ほどの説明にもありましたように、渋川市においてもいじめがないということではなく、若干ではあるがいじめ事例の報告があるようです。</p> <p>この問題も含めご協議をお願いいたします。</p>
土田教育委員長	<p>いじめの件ですが、教育委員の学校訪問で小中学校、幼稚園を訪問をさせて頂きました。</p> <p>いじめに関してはどこの学校にもあるのかなと感じました。</p> <p>幸い、さほど重大化してないようですが、重大化する前に対応をしていかなければならないと思っています。</p> <p>学校に託す部分もありますが親の立場から子どもの変化を確認し、注意深く見守る必要があるのかなと感じています。</p> <p>少しでも子どもからのSOSが出れば、対応していかなければならないと感じています。</p> <p>いじめは保護者が発見することが多いらしいですから、親御さんが子どもからのSOSをキャッチするのが対策方法だと、個人的には思っています。</p> <p>昨日も子ども見守りのパトロールを行いました。夕暮れに部活帰りの中学生たちが帰っていったが、グループで帰る子、中には一人きりの子もいてこんなに暗い中で大丈夫か心配したりしました。</p> <p>このようなことで、地域の間が少しでもタッチしていくことが必要ではないのかなと個人的には思っています。</p>
阿久津市長	<p>私も先日、PTAの連絡協議会に出席してPTAの方や先生方がそのような活動をしていただいていることをお聞きし、大変心強く感じています。</p> <p>PTAの方と保護者と先生方と連携をとって対応していただくことが大事だと思います。</p> <p>大きないじめ事件の報道を見ると、こどもたちからは何らかの信号を発信していると感じています。</p> <p>いち早くキャッチして、しっかり先生方と保護者が連携を取っていくことが大切と思います。</p>
太田教育委員長職務代理者	<p>本市では、毎月いじめのアンケートを取っていると思いますが、更に充実させていただきたいと思っています。</p> <p>保護者と学校の連携をとるとのことですが、ただの付き合いだけの連携ではなく、先生に何でも言えるような人間関係を構築する必要があると思います。</p> <p>特に小学生はお子さんがいろいろ話すのでいいのですが、中学生になるとお子さんも思春期になり、親子関係も難しくなってきます。</p> <p>また、先生方も部活等でいろいろ忙しいですが、とはいっても、いじめは絶対ゆるさないということですので、保護者と先生が話し合えるような関係築いていくことが大事であると思います。この中においてもこれで終わりませんで、家庭は学校が、学校は家庭がといったこともあるようですが、どの学校においても共通の理解で、人権教育の推進にあたっていただければと思っています。</p>
阿久津市長	<p>保護者と教師が連絡を取りやすい環境をとということですね。</p>

学校教育環境に関わることで、学校教育課長から本市の取り組みについて説明をお願いします。

名塚学校教育課長

保護者と学校との連携ですが、委員のおっしゃる通りです。
いじめの発見については、こどもが保護者に、保護者から学校にどの連絡経路が多いと感じております。こうした中、学校の敷居を低くと言われています。
教育委員会からも学校へ保護者からの意見を親身になって聞いていただくよう伝えてあります。その中からいじめが発見されるような場合もありますので、このようにいじめを早期に発見することは、子どものすこやかな成長のために大切であると考えています。
学校教育課としては、いじめの早期発見について各学校に指導、助言を実施していきたいと思っております。

阿久津市長

ほかにございますか。

池田委員

いじめは日頃の未然防止につとめることが大事と思っています。
一つ目は、日頃の生活ノートの活用についてがクローズアップされていますが、私も中学校の担任をしていたときに生活ノートから得る子どもたちの情報は非常に多かったです。
日頃の業務で、先生方も仕事量も多くなり、忙しかったと思いますが、授業やそれ以外であっても積極的な生徒指導に力を入れるということ、また、子どもとのやりとりだけではなく、これを通して生活指導をしていく、あるいは、いじめ防止をしていくという認識があるかどうかで違うと思います。
そのような認識に立って実践していくことが大事ではないかと思います。
また、一人の先生ががんばっても他の先生と共通理解がなされないと滅入ってしまうので、先生方が共通理解に立って実践していくことが大事だと思っています。
二つ目は、いじめの早期対応はどこでも言われていますが、先ほど学校教育課長さんの話でも保護者からの情報が多いということですが、このような情報を受け止める力を先生方や学校全体が持つということが迅速な対応につながると思います。
学校全体の組織力を持つことが実践面では大事かなと思います。
渋川市では市全体でいじめ問題に取り組んでおりますが、学校によっては温度差があるように感じます。
三つ目は、いじめに対して共通認識を持ち、どんな小さなものも報告することが大事かなと思います。
報告数が多いと学校や担任の指導不足とすり替えられてしまいがちであるが、そのような考え方は払拭していただき、いじめは見逃さないといった姿勢が大事かなと思いました。

阿久津市長

そうですね。
小さいうちに学校側で伏せてしまうような問題もあると思います。
それより池田委員の言うとおりの、小さなことも早く対処したほうが大きい事故や事件にならないと思いますので、勇気を持ってしっかり対応して

いただきたいと思います。

名塚学校教
育課長

池田委員から大きく分けて3つのお話がありました。

いじめの未然防止につきましては、生活ノートや連絡帳を活用していますが、先生方にはこの道具を使って生徒指導をしていくのだという認識を持っていただくため、児童・生徒のどの子にもいじめが起きるのでという共通認識を持っていただくように校長会等を通して先生方に理解していただきたいと思っております。

また、子どもたちが頼りにする先生に心の余裕があり、保護者から願いを受け止められるよう、先生方に時間のゆとりができるよう教育委員会としても業務の軽減ができることは行い、先生の時間の確保するよう努めたいと思います。

また、先生方の向上については、毎年3学期に子どもたちの訴えや保護者からの訴えを受け止めに対し真摯に対応するためのスキルアップ研修を実施しています。

各学校の温度差については、校長会等を通していじめを認知することは、解消のスタートラインであると積極的に捉えていただき、認知することが解消につながるの考え方を浸透させていきたいと思っております。

高橋委員

私からは、2つお話があります。

本条例に基づく組織が記載されていますが、その内容は小学校、中学校での対応が中心になっているような気がします。

いじめの問題は、幼稚園も保育所・保育園、全てで発生する可能性があると思います。

小学校への入学の時とかに連携を緊密にさせていただくことで、幼児期から小学校、中学校へと連携して支援、指導していけば効果があるのかなと感じています。幼稚園は教育委員会の管轄ですが、保育所・保育園は違うので、その所をうまく協力して問題が起きないように、起きても解決できるように対応していただければいいと思っています。

2つ目ですが、いじめの定義についてです。

説明がありましたが、いじめられたと思った訴えを認め、対応するようにと示されていますが、もしそれがあった場合、学校は事実確認をして当事者への指導、更に必要があれば全校またはクラスで児童・生徒に指導、そして出てきた内容を親に確認する必要がある、報告書も作るという手続きになります。それを相手側の保護者に報告と確認をする努めがあるが、子どもの話を聞いて納得しない親もいると思います。

これは、訴えた子どもの気持ちを優先すると片方は納得できないという場合も出てきて、学校の対応も大変になってくると思います。

資料に記載があるように学校、教育委員会がよく相談をし、敷居を低くして親の話をよく聞いていただき、これ以外にも電話相談など親御さんの相談を受けられるような体制も更に進めてほしいと思います。

先ほどのいじめの数についての話がありましたが、そのことだけで評価するようなことがあるといろんな所で萎縮させる原因になると思いますので、避けてほしいと思います。

阿久津市長

幼稚園と保育園のお話がありましたが、そこは同じ市でありますので縦

割り行政でなく、子どもは渋川市の宝でありますので、市を上げて、また、市民を上げて応援していきたいと思っております。

名塚学校教育課長

高橋委員から小中学校のみならず、幼稚園、保育所、保育園も、とのお話がありましたが、まさに幼稚園、保育所、保育園では遊びを通して人間関係が広がっていく時期であり、その中で折り合いを学ぶ場面もあるかなと思います。

子どもたちが安心して自分の気持ちを出せるように、そして自分の力で解決できるように、時には周りから支援する体制で取り組んでいます。

そして、そこで出たいじめがあれば、その都度、教育委員会あるいは、保健福祉部こども課、そして「いじめ問題対策連絡協議会」にあげていただき、園児たちの健やかな成長を願っていくことが、大切な日々の取組と思っております。

また、先ほどのいじめ報告の件数についてですが、数として受け止めるのではなく、中身として受け止めて対応していきたいと考えております。

後藤教育長

私からは、教育長の立場でいじめ問題について発言させていただきます。いじめの問題については、1980年代から深刻化が始まったことが認められ、現在においても状況は変わっていないということです。

教育委員会では、定例の校長会議等を開き、こうした全国で起きた事件や管内のいじめ報告もされている状況です。

いじめの最悪な状況を未然に防ぐには、どのような手立てがあるのかを考える必要があると思っております。

手立てとして一つは、4年前に大きな事件があって今回のいじめ防止対策推進法の成立になったわけです。

起こってしまった事件のいじめの要因を検証し、しっかり分析をして、本市の教育現場において、そのようなことが起こらないように、その上で同じことを繰り返さないとの共通認識をもつことが必要と思っております。

具体的には、加害生徒と被害生徒を同じ場所で面談しない、担任教師が単独で対応せず組織的な対応をするほか、日々多忙な業務においても子どもの切実な訴えを優先させるなどの認識が必要で、これは事例からの教訓ではないかと思っております。

そして、第二は人権教育の充実を図ることが必要ではないかと思っております。もちろんいじめは、重大な人権侵害であるとの認識は必要ですが、もう少し根本的には、自己肯定感を持てるような教育を進め、自分自信が満足する日常を送れば人を傷つけるようなことは起こらないと思っております。

また、地域社会の中で伝統文化のいろんな行事に参加することで、学校以外の別の居場所があれば、逃げ道が作れるのではないかと思いますので、学校以外の活動に積極的に参加させるような取組、指導が必要ではないかと思っております。

第三に、いじめは、段々エスカレートしていくようですので、はじめの対応が肝心です。

しかし、見つけるのが難しく、わずかなサインを見逃さないことが必要ですが、そのためにも、教師の多忙を解消し、子どもたちと真剣に向き合える時間を確保する取組が必要になりますので、定例の校長会等を通して、

	何度も何度も訴えて行きたいと思っております。
阿久津市長	<p>今回の教育総合会議のように、市長が教育委員会と協議する場ができたのは、大津市のいじめ問題が起因のようですが、いじめは教育委員会だけの問題ではなく、行政も一緒に取り組まなければならないことから市長から教育委員会へ意見が述べられるようになったのかと感じています。</p> <p>しかしながら、教育と政治の中立はしっかり担保していかなければならないと思っておりますが、そのような中、子どもたちを主体とした議論をしていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>ほかにご意見はありますか。</p>
各委員	(教育委員 「なし」 の声)
阿久津市長	ご意見がないようでございますので、このいじめ条例については、12月議会に提出させていただきますのでよろしくお願いいたします。

5 その他

阿久津市長	<p>続きまして、5その他ですが、私から一つ報告させていただきます。</p> <p>現在、体育課所管のスポーツ事業については、市長部局において健康教室や保健活動など健康づくり事業を実施しています。</p> <p>これらを一元化して、事業効果の向上を図れないか研究するよう進めさせていただいています。</p> <p>また、体育協会においては、中学校の部活動の指導員について、ある程度の資格を持った方をお願いするような方法ができないか、渋川市独自の資格認定等の研究もさせていただいているのでご承知おきください。</p>
田中企画部長	<p>平成28年度に向けてですが、現在、企画部の中にスポーツを扱う部署がありスポーツによる交流人口の拡大を進めています。</p> <p>また、体育課においては総合型スポーツクラブの創設について取り組んでおります。</p> <p>スポーツを通して健康づくりをしていきたいとの考えに基づいて、スポーツ振興を保健福祉部で担ったり、体育課や公民館で担ったりしています。</p> <p>今後は、重複していたものを一つの所で実施したほうが、効果的に事業実施ができるのではないかと市長部局へ移す調整を進めています。まだ、検討段階でありますので、決定すれば改めてご報告させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
阿久津市長	市のスポーツ活性化構想では、趣味に於ける健康作り、スポーツにおける交流人口の増加、スポーツによる市民のコミュニケーションをとり一体感をもたせたいと考えております。また、体育施設の貸し出しについても一元化したほうがいいということで、企画課で調整しておりますので、何かご意見があればお聞かせ願いたい。
高橋委員	学校の体育館施設などは、インターネットで利用状況や申込みができるようになれば使いやすくなるのではないのでしょうか。

田中企画部長	<p>組織を一元化しても学校の体育館などは貸し出し等業務については、教育委員会事務局に残さざるを得ないものもございますので、今後調整していきます。</p>
阿久津市長	<p>ご指摘のことを含めて、一元化の検討していきますのよろしくお願ひします。</p> <p>4・5年先には、3人に1人が65歳以上になりますので、健康づくりは重要な課題です。</p> <p>市としても市民の健康寿命を延ばして、元気でいられるよう取り組んでいきます。</p> <p>健康でいることで、一番幸せなのは本人でありますので、健康づくりについて、市民一人一人が認識していただきたいと思っております。</p> <p>このため、体育施設などがより市民に利用しやすいよう検討していきますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>そのほかに何かございますか。</p>
池田委員	<p>部活動の指導では、教師自身が経験のないスポーツを教えていかなければなりません、先ほどの中学生の部活動の指導には、市独自で資格を設けて専門の指導者を呼ぶことを研究しているとのことですが、このようになれば教師のサポートにもなりますので、大賛成です。</p> <p>市では、中学校へ専門のアスリートを呼んで指導していただいたりしておりますが、最近では関東大会や全国大会に出場との成果も出てきていると思いますので、これからもこのような活動の推進をお願いしたいと思ひます。</p>
阿久津市長	<p>NPO群大クラブからの講師派遣事業は、当初文部科学省の補助金事業ではじめましたが、3年目からは市単独の事業で体育協会と相談しながら行っております。市内には、国体出場者など優秀なアスリートがいらっしゃる、その技術を市民へ還元していくことで、渋川市独自の資格を設けて、指導者として勉強していただき、楽しめるスポーツの指導をしていただきたいと思ひています。</p> <p>このほか、体育協会では、総合型スポーツクラブの設立に向け進んでいます。渋川市ではいろいろな面で渋川市が全国で一番ということをめざしていきたいと思ひしておりますのでよろしくお願ひします。</p>
土田教育委員長	<p>市長から、総合型スポーツクラブの計画などを伺いましたが、素晴らしい計画だと再認識いたしました。</p> <p>その中で案など示していただき、こちらの意見を織り込んでいただければと思ひます。</p> <p>今後もこの会議でいろいろな報告をいただければ大変ありがたいと思ひます。</p>
阿久津市長	<p>過日、市内の4つの高校と特別支援学校の校長が市を訪れた際に、高校の再編に関する話が話題となりました。</p> <p>渋川市としては、市内全ての高校が存続できるよう、高校の教育にも応援をしていきたいと思ひています。</p>

	<p>市民会館の利用についての協力や駅前の空き店舗を利用した学習スペースの確保、学生の居場所づくりに取り組んでいく計画です。</p> <p>また、渋川医療センター開院に伴い閉院となる渋川総合病院跡地の利用して、介護や保育関係の専門学校を誘致しようと進めております。</p> <p>今後は、渋川市の地域にはすばらしい教育機関があることをアピールしていきたいと思っていますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。</p>
後藤教育長	<p>市長から高校のお話がありましたので、報告をさせていただきます。</p> <p>先日、10月下旬に「渋川市家族の日大会」作文コンクールの発表の場においては、渋川青翠高校の和太鼓の演奏をしていただきました。</p> <p>また、「しぶかわ市民まなびの日」事業では、小中学生の発表だけではなく、各高校の紹介をするなど高校生の発表の場を設け、地元の小中学生が地元の高校に興味をもち、身近なものと感じてもらえるよう、努めております。</p>
阿久津市長	<p>渋川市を教育のまちとしても魅力を発信していきたいと考えておりますのでよろしく願いします。</p> <p>ほかに何かありますか。</p>
各委員	(教育委員 「なし」 の声)
阿久津市長	ないようなので、事務局から何かありますか。
笹原企画課長	<p>次回の会議についてお知らせいたします</p> <p>次回の会議は、前回のスケジュールでは、平成28年2月17日といたしましたが、2月26日の10時からに変更させていただきますのでよろしく願いいたします。</p>
阿久津市長	<p>以上をもちまして、本日の議題は、全て終了いたしました。</p> <p>これで議長の座を降ろさせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>

6 閉 会

笹原企画課長	<p>以上をもちまして、平成27年度第3回渋川市総合教育会議を閉会とさせていただきます。</p> <p>長時間に渡り、熱心にご審議いただきありがとうございました。</p>
--------	---

平成27年度第3回渋川市総合教育会議
次 第

日 時 平成27年11月18日(水)
午後3時～
場 所 市役所第二庁舎201会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 教育委員長あいさつ

4 議 題

(1) 渋川市教育振興大綱(案)について・・・ 資料No.1・No.2

(2) 渋川市いじめ問題対策連絡協議会等条例等について・・・ 資料No.3

5 その他

6 閉会